

2022年度 院長・看護部長講話

今年も看護部職員 283 名を対象に宮岡弘明院長・東良子看護部長講話が開催されています。宮岡院長からは新型コロナ感染症の現在の状況・当院での取り組みについて昨年に続き報告がありました。今年はそのに加えてアフターコロナを見

据えた対応についても触れられていました。その中でとある書籍の紹介もありました。今のコロナ禍の状況に酷似しており、みなさんにもぜひおすすめとのことで、私も早速ポチってみました。宮岡院長は普段からスタッフに向けてメッセージを積極的に発信し、スタッフの声を拾いあげようとしてくださいますが、こうして直にお話を伺う機会を持つことで、さらに経営者（管理者）の想いがみんなにしっかりと届けられたと思います。



東看護部長からは看護部目標・ビジョンについて戦略マップ、SWOT 分析を交えながらの講話がありました。また宮岡院長、東看護部長とも離職の原因について分析されており、働きやすい職場に繋がるための人材育成や業務改善の取組がされています。数年前よりキャリアアップのための資格取得支援制度やタスクシェアなどを行っており、資格取得した看護師が業務を行ったことで診療報酬が算定できる機会が増えてきました。優秀な人材を確保&育成することが医療の質の向上に繋がります。みなさんも病院経営に参画しているという自覚を持ちましょう。「この病院を選んでよかった」とスタッフからも患者さんからも思っただけの病院・看護を目指して行きましょう！！

個人的に印象に残ったのは広報紙「済生」より引用された、新しく社会人になった人たちへ「落ち込んだ時のために覚えてほしいこと」でした。

- ・あなたの働きによるこんでくれる人たちがきっといます。
- ・頑張る自分へのご褒美は絶対に忘れないこと。
- ・しんどいことやつらいことがあった時は同期や職種を越えた横のつながりに頼ってみましょう。職場を離れて、呑んだり愚痴ったりできる仲間を作っておくといいですよ。（コロナ禍なので今はオンラインで！）
- ・頑張っていれば放っておいても 1 年後には先輩です！

ああそうね…こうやって私たちも自分の機嫌をとりながら勤続ウン十年続いてきたのだなあとしみじみ…(*´ω`*)
看護部以外の若いスタッフ、新卒や中途採用のみなさんにもお伝えしたいと思い、ここに引用させていただきました。

（看護部 広報委員 〇）

